

<平成27年3月期 第3四半期決算参考資料>(連結)

	前第3四半期累計実績 平成26年3月期	当第3四半期累計実績 平成27年3月期	通 期 予 想 平成27年3月期	前回(平成26年10月)予想 平成27年3月期	前期実績 平成26年3月期
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
売 上 高	15,187 億円	15,886 億円	21,700 億円	21,800 億円	20,934 億円
営 業 利 益	963 億円	1,008 億円	1,350 億円	1,350 億円	1,234 億円
<利益率>	< 6.3% >	< 6.3% >	< 6.2% >	< 6.2% >	< 5.9% >
		(増益要因) 為替 +195億円 資材費等コスト低減 +191億円	(増益要因) 資材費等コスト低減 +270億円 為替 +70億円	(増益要因) 資材費等コスト低減 +250億円 為替 +40億円 台数・車種構成等 +10億円	
		(減益要因) 台数・車種構成等 ▲85億円 販売費用 ▲40億円 その他 ▲216億円 対前年 増減計 +45億円	(減益要因) 台数・車種構成等 ▲50億円 販売費用 ▲50億円 その他 ▲124億円 対前年 増減計 +116億円	(減益要因) 販売費用 ▲40億円 その他 ▲144億円 対前年 増減計 +116億円	
経 常 利 益	1,164 億円	1,201 億円	1,380 億円	1,380 億円	1,295 億円
<利益率>	< 7.7% >	< 7.6% >	< 6.4% >	< 6.3% >	< 6.2% >
当 期 純 利 益	884 億円	986 億円	1,100 億円	1,100 億円	1,047 億円
<利益率>	< 5.8% >	< 6.2% >	< 5.1% >	< 5.0% >	< 5.0% >
為 替 (売上レート)	99 円/US\$ 131 円/1-円	106 円/US\$ 140 円/1-円	108 円/US\$ 137 円/1-円 (第4四半期: 115円/US\$) (第4四半期: 131円/1-円)	105 円/US\$ 138 円/1-円 (下期: 106円/US\$) (下期: 137円/1-円)	100 円/US\$ 134 円/1-円
設 備 投 資 (計上ベース)	444 億円	447 億円	900 億円	900 億円	722 億円
減価償却費	392 億円	388 億円	580 億円	580 億円	527 億円
研究開発費	481 億円	541 億円	740 億円	720 億円	675 億円
有利子負債残高	2,841 億円	2,064 億円			2,224 億円
総 資 産	15,050 億円	16,473 億円			15,439 億円
売 上 台 数	915 千台	956 千台	1,298 千台	1,306 千台	1,258 千台
国 内	218 千台	203 千台	281 千台	276 千台	313 千台
海 外	697 千台	753 千台	1,017 千台	1,030 千台	945 千台
生 産 台 数 (自工会ベース)	940 千台	933 千台			1,269 千台
業 績 評 価		増収・増益			

## 三菱自動車、2014年度第3四半期決算及び通期業績見通しを発表

三菱自動車は本日、2014年度(2015年3月期)第3四半期決算及び2014年度通期の業績見通しを発表しました。

### 1. 業績概況

2014年度第3四半期累計期間(2014年4月1日～12月31日)の売上高は、前年同期比699億円(5%)増の1兆5,886億円となりました。

営業利益は、タイや日本での販売台数減少による影響やロシアにおける台数・車種構成等の悪化がありましたが、コスト低減努力、為替の好転により、前年同期比45億円(5%)増の1,008億円となりました。

経常利益は、為替差益や持分法による投資利益などの営業外損益のプラスが加わり、前年同期比37億円(3%)増の1,201億円となりました。

また当期利益は、前年同期比102億円(12%)増の986億円となりました。

この結果、すべての利益項目(営業利益、経常利益、当期利益)において前年同期比で増益となり、第3四半期累計期間における過去最高益を達成しました。

### 2. 販売台数

2014年度第3四半期累計期間の販売台数は、前年同期比30千台(4%)増の806千台となりました。日本では、前年同期比18千台(19%)減の79千台となりました。

北米は、総需要が堅調な米国において主力車種の『アウトランダースポーツ』(日本名:『RVR』)や『ミラージュ』の販売が増加し、地域全体で前年同期比15千台(22%)増の85千台となりました。

欧州は、ロシアで前年同期を下回った一方で、西欧で『アウトランダーPHEV』の導入国拡大などにより前年同期を上回り、地域全体では前年同期比22千台(15%)増の171千台となりました。

アジアは、中国で広汽三菱汽車を中心に大きく伸長しましたが、タイにおける総需要の回復の遅れによる販売台数減少により、アジア全体で前年同期比3千台(1%)減の257千台となりました。

その他地域では、中東を中心に販売台数を伸ばし、前年同期比14千台(7%)増の214千台となりました。

### 3. 2014年度業績見通し

本第3四半期累計期間の実績、及び、直近の経済状況や市場動向等を踏まえ、2014年度通期(2014年4月1日～2015年3月31日)の販売台数見通し及び業績予想を以下のとおり修正いたしました。

- 販売台数: 1,067千台(対2014年10月29日公表値22千台減)
- 売上高: 21,700億円(同100億円減)
- 営業利益: 1,350億円(同±0)
- 経常利益: 1,380億円(同±0)
- 当期利益: 1,100億円(同±0)

以上

#### 【お問い合わせ先】

広報部 メディアリレーショングループ担当: 山西、稲田

代表 03-6852-4274・4276

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的风险や不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

# 2014年度 第3四半期 決算説明会

三菱自動車工業株式会社  
2015年2月3日

2014年度 第3四半期 実績



新型『トライトン』

前年同期に対し、増収・増益

(単位: 億円)

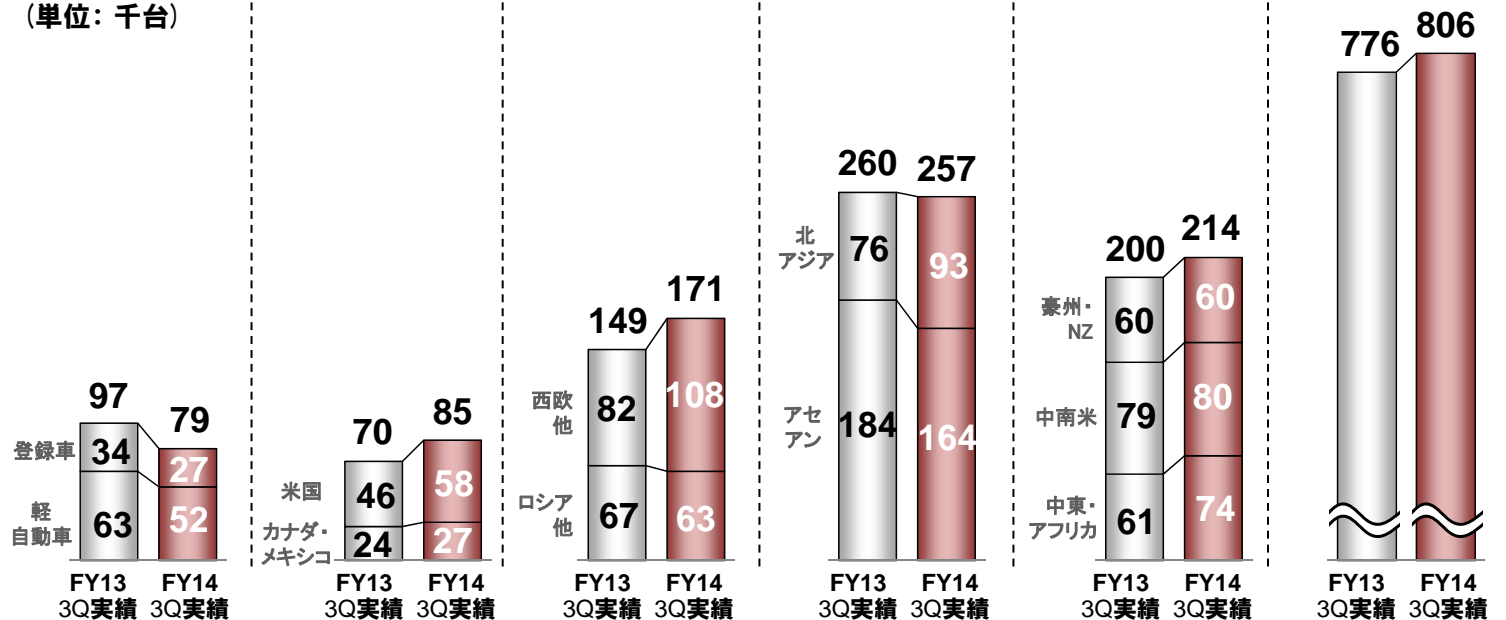
	FY13 3Q	FY14 3Q	増減	
	( '13/4-'13/12)	( '14/4-'14/12)	差異	率
売上高	15,187	15,886	+699	+5%
営業利益 (利益率)	963 (6.3%)	1,008 (6.3%)	+45	+5%
経常利益 (利益率)	1,164 (7.7%)	1,201 (7.6%)	+37	+3%
当期利益 (利益率)	884 (5.8%)	986 (6.2%)	+102	+12%

2014年度 第3四半期 小売台数実績【9ヶ月累計、前年同期対比】

西欧、北アジア、米国で伸長し、前年同期を30千台上回る

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
《前年同期実績対比増減》 - 18 (- 19%)	+ 15 (+ 22%)	+ 22 (+ 15%)	- 3 (- 1%)	+ 14 (+ 7%)	+ 30 (+ 4%)

(単位: 千台)



※注) 14年度第3四半期小売台数実績は速報値。

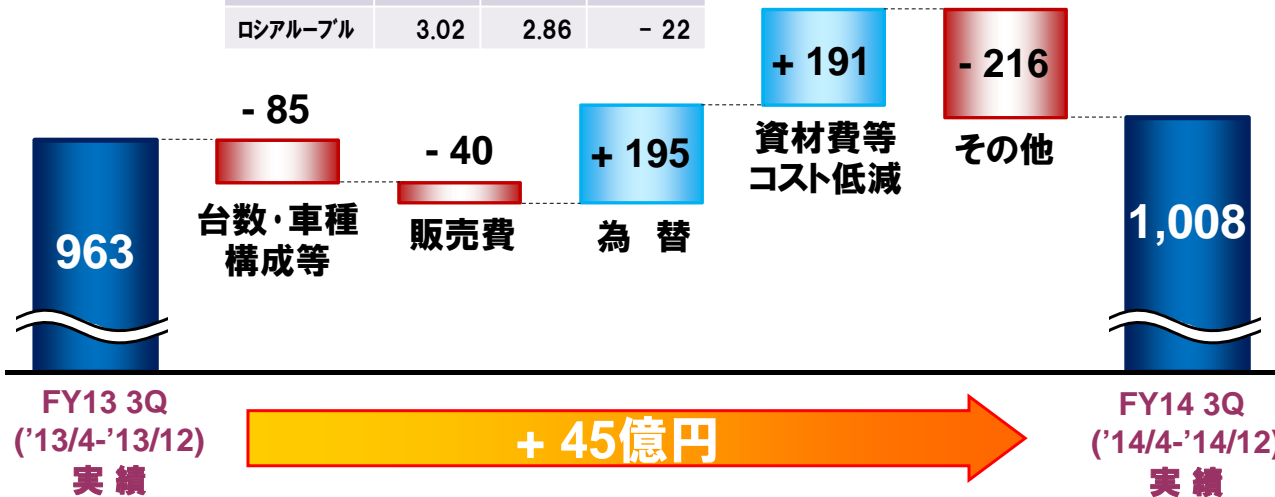
## コスト低減努力、為替の好転により増益

(単位: 億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	- 29
北米	- 11
欧州	- 18
アジア	- 47
その他	+ 20

主要通貨別内訳	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY13	FY14	
米ドル	99	106	+ 106
ユーロ	131	140	+ 58
豪ドル	94	96	+ 27
タイバーツ	3.21	3.29	- 68
英ポンド	155	174	+ 63
ロシアルーブル	3.02	2.86	- 22

その他の主な内訳	
間接員労務費	- 27
研究開発費 他	- 189



4

## 通期業績見通し

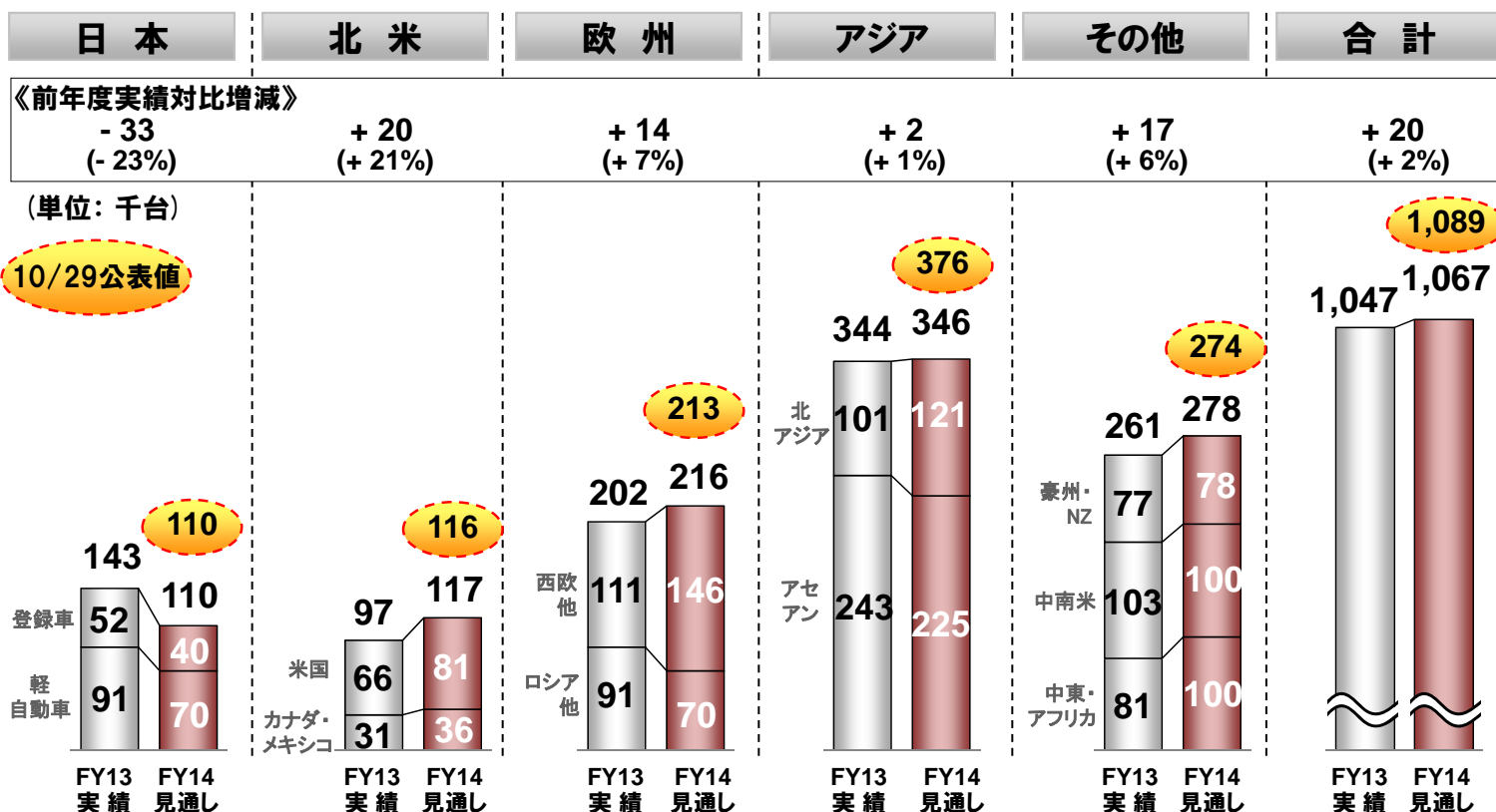


『アウトランダー-PHEV』「SPORTS STYLE EDITION」

5

# 2014年度 小売台数見通し【前年度対比】

## 前年度実績に対し 20千台増加の計画



6

# 2014年度 業績サマリー【前年度対比】

## 前年度に対し、増収・増益の計画

(単位: 億円)

	FY13	FY14	増減		10/29 公表値
	( '13/4-'14/3) 実績	( '14/4-'15/3) 計画	差異	率	
売上高	20,934	21,700	+766	+4%	21,800
営業利益 (利益率)	1,234 (5.9%)	1,350 (6.2%)	+116	+9%	1,350 (6.2%)
経常利益 (利益率)	1,295 (6.2%)	1,380 (6.4%)	+85	+7%	1,380 (6.3%)
当期利益 (利益率)	1,047 (5.0%)	1,100 (5.1%)	+53	+5%	1,100 (5.0%)

台数・車種構成等	- 50
販売費	- 50
為替	+70
資材費等コスト低減	+270
その他	- 124

7

■ 2014年度第3四半期実績

前年同期に対し、台数増、増収・増益

➤ 販売台数(小売) :	前年同期比	4%増加の	806千台
➤ 販売台数(卸売) :	前年同期比	4%増加の	956千台
➤ 売上高 :	前年同期比	5%増収の	15,886億円
➤ 営業利益 :	前年同期比	5%増益の	1,008億円
➤ 経常利益 :	前年同期比	3%増益の	1,201億円
➤ 当期利益 :	前年同期比	12%増益の	986億円

■ 2014年度通期見通し

前年度に対し、台数増、増収・増益の計画

➤ 販売台数(小売) :	前年比	2%増加の	1,067千台
➤ 販売台数(卸売) :	前年比	3%増加の	1,298千台
➤ 売上高 :	前年比	4%増収の	21,700億円
➤ 営業利益 :	前年比	9%増益の	1,350億円
➤ 経常利益 :	前年比	7%増益の	1,380億円
➤ 当期利益 :	前年比	5%増益の	1,100億円

Appendix



新型『トライトン』



# 2014年度 業績サマリー 【四半期推移】

(単位: 億円、千台)

	FY14 1Q ( '14/4-6)	FY14 2Q ( '14/7-9)	FY14 3Q ( '14/10-12)	FY14 3Q累計 ( '14/4-' 14/12)
売上高	5,138	5,213	5,535	15,886
営業利益	310	317	381	1,008
経常利益	326	410	465	1,201
当期利益	282	327	377	986
販売台数(小売)	258	263	285	806
販売台数(卸売)	315	311	330	956
売上レート(円)				
米ドル	102	103	112	106
ユーロ	140	138	141	140
豪ドル	95	96	97	96
タイバーツ	3.15	3.24	3.50	3.29
英ポンド	171	173	180	174

10

# 2014年度 第3四半期 地域別実績【前年同期対比】

(単位: 億円)

	FY13 3Q累計 ( '13/4-' 13/12) 実績	FY14 3Q累計 ( '14/4-' 14/12) 実績	増減
<b>売上高</b>	<b>15,187</b>	<b>15,886</b>	<b>+ 699</b>
- 日本	3,244	3,115	- 129
- 北米	1,764	1,968	+ 204
- 欧州	3,415	3,925	+ 510
- アジア	3,107	3,148	+ 41
- その他	3,657	3,730	+ 73
<b>営業利益</b>	<b>963</b>	<b>1,008</b>	<b>+ 45</b>
- 日本	- 21	- 12	+ 9
- 北米	- 22	15	+ 37
- 欧州	304	332	+ 28
- アジア	461	378	- 83
- その他	241	295	+ 54

11

# 2014年度 地域別業績見通し【前年度対比】

(単位: 億円)

	FY13 通期 実績	FY14 通期 見通し	増減
<b>売上高</b>	<b>20,934</b>	<b>21,700</b>	<b>+766</b>
- 日本	4,741	4,400	- 341
- 北米	2,294	2,700	+406
- 欧州	4,843	5,100	+257
- アジア	4,157	4,300	+143
- その他	4,899	5,200	+301
<b>営業利益</b>	<b>1,234</b>	<b>1,350</b>	<b>+ 116</b>
- 日本	9	10	+1
- 北米	- 38	30	+68
- 欧州	372	370	- 2
- アジア	598	530	- 68
- その他	293	410	+117

12

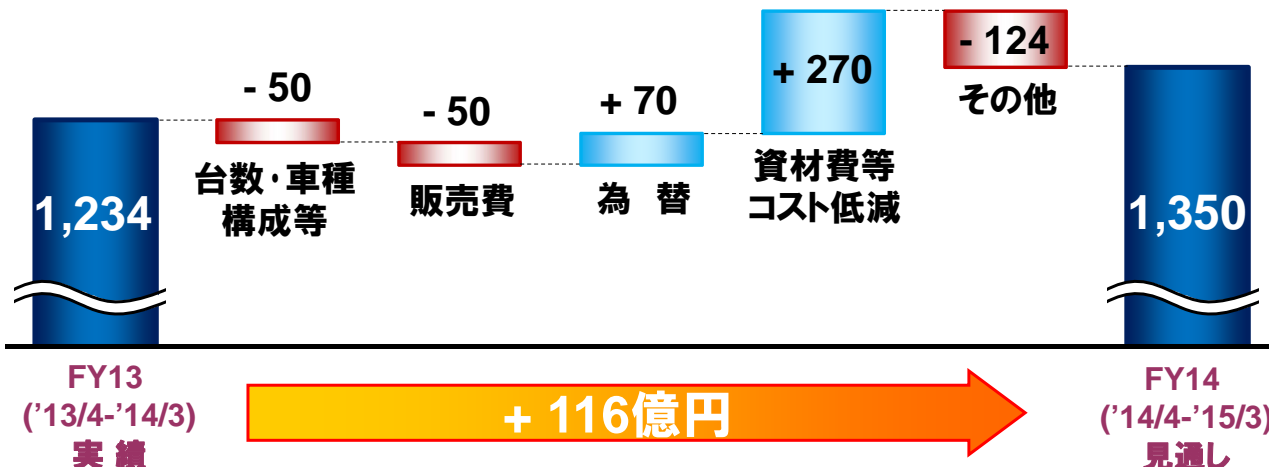
# 2014年度 営業利益見通し増減分析【前年度対比】

(単位: 億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	- 50
北米	+ 25
欧州	- 25
アジア	- 30
その他	+ 30

主要通貨別内訳	売上レート(円)		影響額 (億円)
	FY13	FY14	
米ドル	100	108	+ 160
ユーロ	134	137	+ 30
豪ドル	93	95	+ 30
タイバーツ	3.19	3.38	- 150
英ポンド	159	176	+ 70
ロシアルーブル	3.01	2.65	- 70

その他の主な内訳	
研究開発費 他	- 124

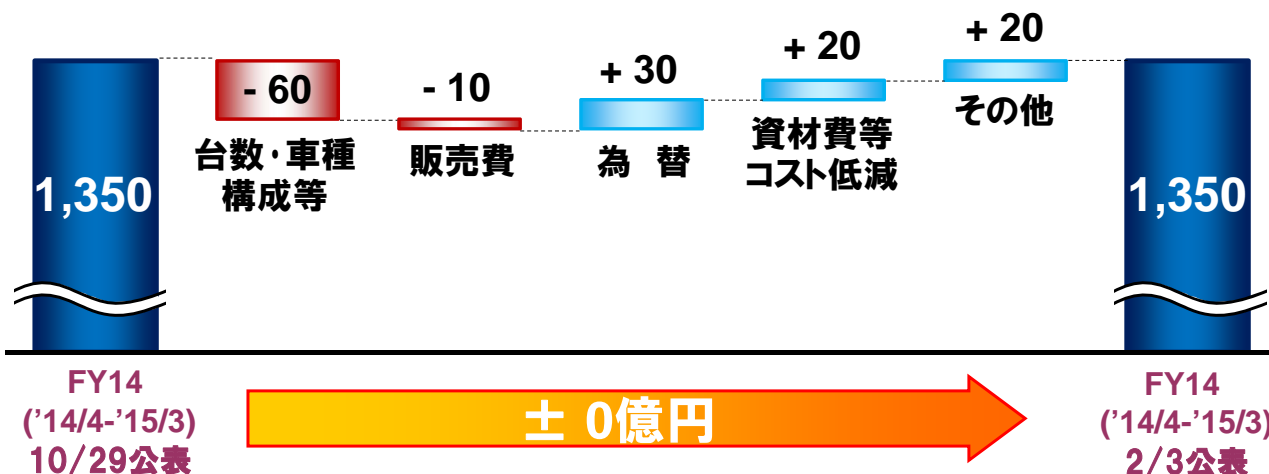


13

(単位: 億円)

台数・車種構成等 地域別内訳	
日本	+ 10
北米	+ 10
欧州	- 10
アジア	- 50
その他	- 20

主要通貨別内訳	売上レート(円)		影響額 (億円)
	10/29	2/3	
米ドル	105	108	+ 80
ユーロ	138	137	- 10
豪ドル	95	95	± 0
タイバーツ	3.32	3.38	- 60
英ポンド	172	176	+ 20
ロシアルーブル	2.78	2.65	- 20



## 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位: 億円)

	FY13 3Q累計 ( '13/4-'13/12) 実績	FY14 3Q累計 ( '14/4-'14/12) 実績	FY14 ( '14/4-'15/3) 通期見通し
設備投資 (前年同期比)	444 (+37%)	447 (+ 1%)	900 (+25%)
減価償却費 (前年同期比)	392 (+7%)	388 (- 1%)	580 (+10%)
研究開発費 (前年同期比)	481 (+6%)	541 (+12%)	740 (+10%)

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

# Drive@earth



## MITSUBISHI MOTORS